

3.2 群馬県の土砂災害の発生状況

群馬県で発生した主な土砂災害は表1の通りです。近年では令和元年東日本台風により県南西部に大きな被害が発生しました。

表1 主な土砂災害の発生状況

発生年月	原因	被災状況
明治43年8月	台風	死者284名、行方不明者22名
昭和10年9月	前線停滞、台風	死者218名、行方不明者39名
昭和22年9月	カスリーン台風	死者592名、行方不明者107名
昭和23年9月	アイオン台風	死者6名、行方不明者4名
昭和24年9月	キティ台風	死者44名、行方不明者5名
昭和34年9月	伊勢湾台風	死者10名、負傷者27名
昭和56年8月	台風15号	死者1名、負傷者2名
昭和58年8月	台風5・6号	負傷者1名
平成10年9月	台風5号	土砂災害27件（土石流9件、地すべり2件、がけ崩れ16件） 人的被害なし、家屋全壊1戸、JR土合駅へ土砂流出
平成11年8月	集中豪雨	土砂災害14件（土石流5件、地すべり3件、がけ崩れ6件） 死者1名、負傷者7名、家屋半壊7戸
平成12年4月	融雪	水上町で土石流発生 人的被害なし
平成12年9月	集中豪雨	土砂災害6件（土石流1件、地すべり2件、がけ崩れ3件） 負傷者2名
平成13年8月	台風11号	土砂災害8件（土石流1件、地すべり1件、がけ崩れ6件） 行方不明者1名、人家半壊1戸、人家一部損壊2戸
平成14年7月	台風6号	土砂災害10件（土石流1件、地すべり2件、がけ崩れ7件） 人的被害なし、人家全壊3戸、人家一部損壊1戸
平成15年8月	台風10号	がけ崩れ1件 人的被害なし
平成16年10月	集中豪雨	地すべり1件 人的被害なし
平成17年7月	集中豪雨	土砂災害3件（土石流1件、がけ崩れ2件） 人的被害なし
平成18年10月	集中豪雨	土砂災害18件（土石流2件、地すべり1件、がけ崩れ15件） 人的被害なし
平成19年9月	台風9号	土砂災害24件（土石流8件、地すべり3件、がけ崩れ13件） 人的被害なし、人家全壊3戸、人家半壊5戸
平成20年8月	集中豪雨	がけ崩れ5件 人的被害なし
平成21年8月	台風9号	がけ崩れ1件 人的被害なし
平成26年7月	山林火災	土石流1件 人的被害なし
平成28年9月	台風13号	土砂災害3件（土石流2件、がけ崩れ1件） 人的被害なし、人家半壊2戸
令和元年10月	令和元年東日本台風	土砂災害87件（土石流64件、地すべり1件、がけ崩れ22件） 死者4名、負傷者6名、人家全壊5戸、人家半壊5戸
令和2年9月	集中豪雨	土石流1件 人的被害なし

令和元年東日本台風では、県内に初めての大雨特別警報が発令され、また県内の雨量観測所17地点のうち10地点で、日降水量が統計開始以来の最大値を更新しました。

群馬県内では県南西部（富岡市、藤岡市、嬭恋村）を中心に甚大な被害に見舞われ、災害関連緊急事業を5箇所実施（うち1箇所は直轄砂防事務所で実施）しました。また、富岡市内匠地区の地すべり災害は、土砂災害警戒区域等の指定がない箇所での被災となり、原因の究明や今後の対策について検討が行われました。（「富岡市令和元年台風19号災害検証委員会」、「気候変動を踏まえた砂防技術検討会」（国土交通省）など）

藤岡市上日野地区の上平森沢では、土砂災害警戒区域に指定されていましたが、ハード対策が未整備の箇所で被害が発生しました。

下仁田町西野牧地区の前沢川は砂防堰堤が整備されていましたが、砂防指定地外から約32,000m³の大規模な土石流が発生し、既設砂防堰堤を乗り越えて下流の集落の近くまで土砂・流木が流出しました。

また、国道145号鳴岩橋の崩落による嬭恋村田代地区の孤立や、土砂崩れによるJR吾妻線の寸断など、重要交通網の被災が住民生活に多大な影響を及ぼしました。



図 8 令和元年東日本台風における群馬県内の被災状況